○年○月○日

（会社名や団体名）

（名前）　殿

（会社名や団体名）

（名前※印）

弁明書

私こと（名前）は、（弁明内容）について以下のとおり弁明いたします。

記

弁明：

（※弁明内容を記述してください。弁明書には、全面是認や一部否認、全否認と種類があります。）

理由：

（※全面是認とは、自分が行った罪をすべて認め、反省する気持ちを表現して処分内容を軽くしてほしいと願い出ることです。今後、同じ過ちを繰り返さないような対策や意気込みを書きましょう。）

（※一部否認とは、一部分だけを弁明することです。誤りを指摘し、訂正しましょう。ただの言い訳と思われないように、事実部分の証拠を揃えておくことも重要です。）

（※全面否認とは、事実と全く異なるときに使用し、処分の中止を求めるものです。一部否認と同じく、これも事実確認の証拠が必要です。また、過去のケースなどを参照して書くのも有効でしょう。）

（※いずれにせよ、弁明書は一歩間違えると言い訳と捉えられてしまうこともありますので、事実確認をしっかりし、責任の有無をはっきりと訴えましょう。弁護士に相談するのもいいでしょう。）

以上